

正智深谷高等学校特別コラム

Mind Charging

Since 2020

第288回

井上 靖

の名言

発行：入試広報室

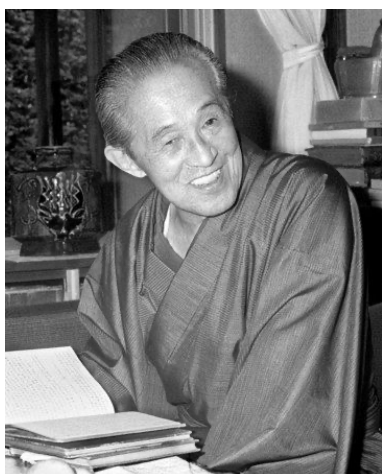
発行日：令和4年1月24日

編集委員：入試広報室 鈴木

今回の言葉

愛が信じられないなら、愛なしで生きてごらん。世の中が
信じられないなら、世の中を信じないで生きてごらん。人
間が信じられないなら、人間を信じないで生きてごらん。
生きるということは恐らく、そうしたことは別ですよ。

井上 靖は、日本の小説家・詩人。



Column

今回の言葉のように『多分違うと思うけど、そうだと思うのなら一度やってみよう』と言ってもらえることは、もしかしたら意外と少ないのかもしれないと感じました。敢えて“言ってもらえる”と表現した理由は、私には“遠回りになったとしてもしっかり答えを出しに行くことも時には大切なんだよ！”というメッセージに感じたからです。それと同時に『俺は忠告したからな…』というようなプレッシャーに感じる人もいるのかもしれないと思ったからです。

例えば自分が興味を持ったものについて、同じものに興味を持ち、経験してみた仲間たちが次々に“やっぱアレは違うな”という結論に達した場合、あなたはどうしますか？『じゃあやっても意味ないな…』とあって経験することさえしないのか、『でも僕には合っているかもしれないからとりあえず一度やってみよう』と経験してみるのか。そのもの自体にもよるとは思いますが、私はダメ元でもちゃんと自分で一度やっておきたいと思ってしまいます。そうは言っても今までの人生の中で興味を持ったものを全て経験したわけではなく、未経験のまま通り過ぎてしまったこともあります。しばらくして『やっぱりやってみよう！』とあってチャレンジしたこともあります。様々なことに興味を持ち、その全てを実体験できれば素晴らしいですが、それはさすがに現実的ではありません。ですから今回の言葉のような『先人の知恵』とも言えるアドバイスにも、時には耳を傾けて自分の中のデータとして得ることが重要なのです。

矛盾するようですが、時代の流れの中で人々の生活や考え方は様々な変化を繰り返していきます。当時の常識が現在の非常識であることも日常茶飯事です。今回の言葉については私の中では全くその通りだと納得できますので試してみようとは思いませんが、『やってみなきゃわかんない！』と思うものがあれば、思い切って試してみるのもいいと思います。その時間と環境がない場合は精一杯調べてみることをお勧めします。様々な経験やデータを得ることによって、みなさんは大きく成長します。そして、その成長によって生まれた自信によって仲間にも素晴らしい影響を与える力になります。井上靖氏のようにアドバイスも見守ることもできる大きな人に成長し、生きることに、自分の人生を豊かにできるように自分を磨き上げていきたいものですね。